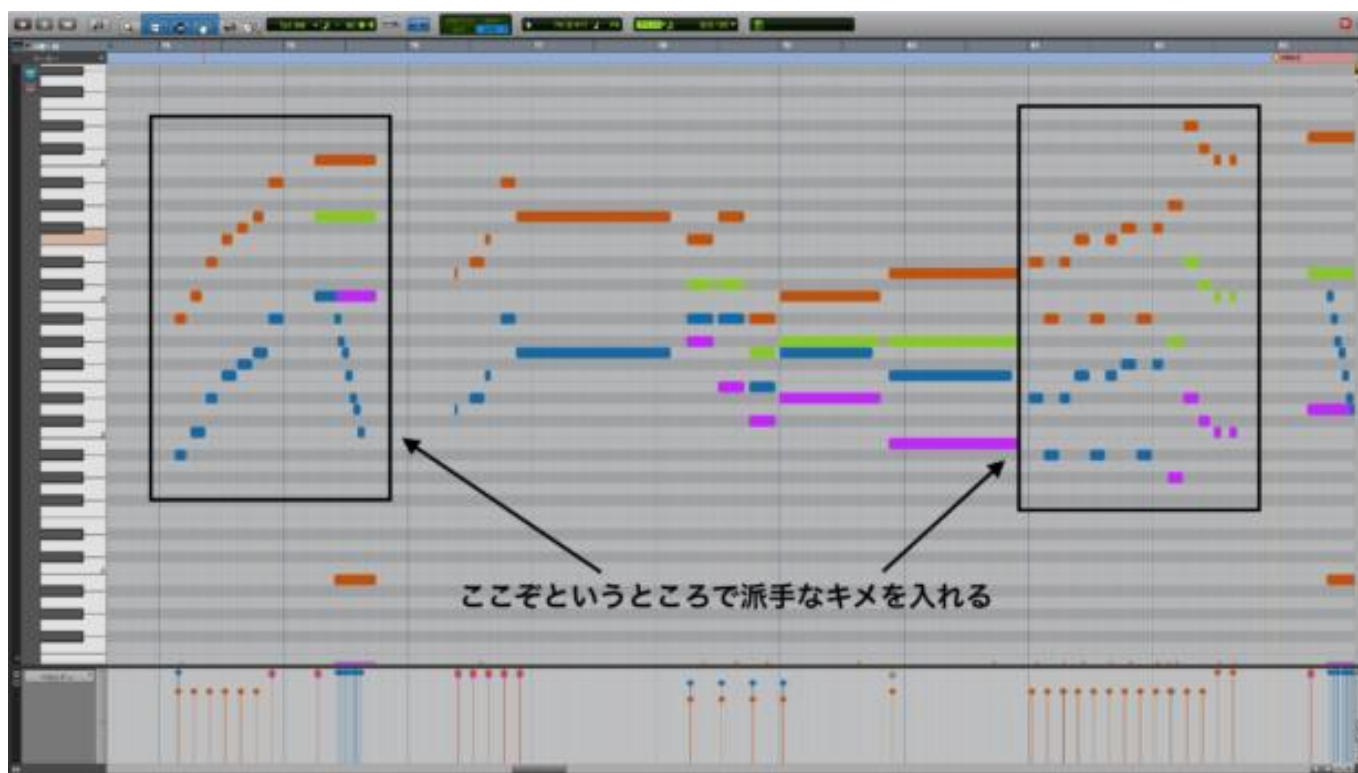


2-7 フォーム4:キメ型

キメ型の特徴

ここぞというポイントでド派手なキメを演奏するフォーム。ホーンセクションによるキメは、他のどの編成よりもパワフルで聞き応えたっぷり。まさにホーンセクションの1番の魅せ場といっても過言ではない。



Musical score for Horn Section (Tp.1, Tp.2, A. Sax, Tb.) of the song "Margin Call". The score is divided into two systems. The first system (measures 27-34) features a section labeled 'B' in a red box at the beginning. The second system (measures 35-42) features a section labeled 'Inter' in a red box at the end. Dynamics include *f* and *ff*. The score is written for four instruments: Trumpet 1, Trumpet 2, Alto Saxophone, and Trombone.

©OTO×NOMA ©TEMPEST STUDIO

キメ型アレンジのポイント

① できる限り華やかでド派手なフレーズを

- ✓ 上行形のフレーズでテンションアップ
- ✓ アクセント&スタッカートを盛り込んだ歯切れの良いフレーズ
- ✓ ハイトーン付近を効果的に活用

② フォールやシェイクなどの奏法を取り入れるのも効果的

- ✓ とくにサビ頭やサビ終わりなどでのフォールはホーンセクションの十八番

③ ホーン以外のパートとリズムを揃えるのもGood

- ✓ サビ前などではバンド全体でキメるのも効果的
- ✓ 一番の聴かせどころであるサビに向けてバシッとキメよう

キメ型アレンジの手順

- ① キメを入れる場所を検討する
- ② 1st Tpでフレーズを決める
- ③ 2nd Tp、Sax、Tbでボーシングする

① キメを入れる場所を検討する

まずは、どこにキメを入れるか入念に検討する。

1. イン트로頭、イントロ終わり
2. サビ前、サビ中、サビ終わり
3. インター前、インター終わり
4. オーラス

の4点を中心に、キメが入ることで楽曲が引き立つポイントを選定していこう！

② 1st Tpでフレーズを入力する

前述の3つのポイントを意識してフレーズを決めよう。上行系で駆け上がり、ハイトーン付近からフォールでキメるといった形は、ホーンセクションの王道。

1st Tpにフレーズを入力 (上行系のフレーズがオススメ)

③ 2nd Tp、Sax、Tbでボイスングする

フレーズを引き立たせたい場合はユニゾンボイスング、リズム重視ならコードボイスングといった基準で選ぶとよい。(基本はユニゾン中心がオススメ。)

全体をボイスング
(フレーズを際立たせたいならユニゾンで、リズム重視ならコードもOK)